

R5 ライフステージ（室賀保育園）_やまほいく事業【まとめ】

1 事業概要

- (1)日時 令和5年 11月7日(火) 午前 9時から 11時まで
- (2)場所 室賀保育園、鉢巻山
「鉢巻山」は室賀保育園の散歩コースの先にあり馴染みのある場所
- (3)参加人数 園児 4・5 歳児 18 名、引率(園長及び保育士)3 名、事務局1名
- (4)講師 ひるま植生 Salon 学芸員 蛭間 啓氏(農学博士)
- (5)ねらい 友達と一緒に鉢巻山を散策し、自然物を見つけたりそれらを使って遊んだりすることを楽しむ。
- (6)日程 9:00 全体会⇒9:10 園出発⇒9:30 森の道を散策⇒11:00 園着

2 実施内容:【室賀保育園(信州型自然保育認定園)での自然保育(野外散策)】

9:00 園庭での説明(注意事項など)

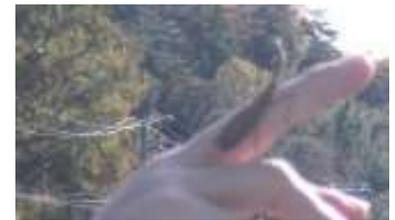
・出発前、園庭にて講師の蛭間さんを紹介

9:10~11:00

・園から「鉢巻山の森」を歩いて往復:

途中、蛭間先生から植物、昆虫などさまざま解説

- ①「エノキ」の葉っぱ:国蝶オオムラサキが卵を産みつけるエノキの葉っぱの見方を説明(特徴:葉の付け根の部分から3主脈が目立つ)
- ②「コカマキリ(メス)」を発見:すでに、青空が広がり始め、道の上にいるコカマキリを発見。茶色で体長7センチくらい。腹部が大きいのでメスとのこと。よく見る緑色のカマキリは「オオカマキリ」
- ③「クジャクシダ」:枝を扇のように広げた姿がクジャクの尾羽を思わせるのでクジャクシダ
- ④ U字溝に「サワガニ」を数匹発見。昨夜からの雨で上流の沢から流されたのか。雨後の散策の特典
- ⑤「クリ」のイガも多数。靴でイガをむいてみる。中には大きな栗の実。去年は小さい栗しかなかったが。
- ⑥ 食用キノコも発見:大きな「ジコボウ」や「ムキタケ」の群生
- ⑦ 筐で保育士さんや蛭間さんがササフネ等作ってくれた



3 総括(全体のまとめ)

- ・前夜の少しまとまった雨が、朝も残り、実施が危ぶまれたが、気象予報を確認し、また、青木村方面の天気回復状況を確認し、実施決定できた。
- ・自然あふれる環境が身近にある園児たちも、普段とは違う視線も加えながらの野外散策となり、自然に触れ、楽しみながら自然観察を体験することができていた。
- ・講師の先生に教わったことを、保育園の先生方も園児たちと一緒に学び、自然の中に生息する植物や野鳥に関心を深める貴重な機会となった。
- ・地域の身近な自然の中で感じた経験は、きっと記憶の中に残っていくと思われた。